

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

本大会は、2022年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

## 2 ウォーミングアップについて

- (1) ウォーミングアップエリアは第2コーナーから第3コーナーまでとする。
- (2) ウォーミングアップを行う際は、審判、役員の指示に従うこと。
- (3) ウォーミングアップエリアでの応援は絶対にしないこと。
- (4) ウォーミングアップエリアへは、トラックを通らずスタンド下を通って行くこと。また、その際スタートやフィニッシュ地点では競技の妨げにならぬよう気をつけること。

## 3 招集について

- (1) 競技者招集所は100mスタート付近（競技場レイアウト参照）に設置する。
- (2) 代理人による点呼は認めない。但し種目を兼ねて出場する者で同時に2種目行われる場合は、その旨競技者係及び審判員に申し出て競技の進行に支障のないようにする。
- (3) 混成競技の招集は各日の最初の種目についてのみ下記の方法により招集所で行う。以後の種目については招集完了時刻に現地集合とする。
- (4) 招集開始時間、招集完了時間は下記のとおりとする。

|                | 招集開始       | 招集完了       |
|----------------|------------|------------|
| トラック競技         | 競技開始 30 分前 | 競技開始 20 分前 |
| 男女走幅跳、男女三段跳    | 競技開始 40 分前 | 競技開始 30 分前 |
| 男女ハンマー投        | 競技開始 60 分前 | 競技開始 50 分前 |
| 上記以外のフィールド種目予選 | 競技開始 40 分前 | 競技開始 30 分前 |
| 上記以外のフィールド種目決勝 | 競技開始 30 分前 | 競技開始 20 分前 |
| 混成競技           | 競技開始 30 分前 | 競技開始 20 分前 |

- (5) 棒高跳・ハンマー投は招集を現地で行い、競技開始 50 分前に打ち切りとする。
- (6) リレー競走に出場するチームは、各ラウンドの1組目の招集完了 60 分前までにオーダーを用紙に記入の上、招集所の競技者係主任に届け出ること（オーダー用紙はプログラムに掲載してある）。

## 4 アスリートビブスについて

- (1) **3000m以上の個人種目（3000mSCを含む）**では、オーダーナンバー（レーンナンバー）を記したアスリートビブスを、ラウンド（予選、決勝）に関わらず各自で準備すること。
- (2) サイドビブスは、リレー以外の全トラック種目、400mリレーの4走者、1600mリレーの2～4走者において両側の腰につけること（インサイドカメラ使用のため）。サイドビブスもラウンドに関わらず各自で準備すること。

## 5 番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) **トラック競技予選のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の番号順とする。**
- (2) 400mまでのトラック種目および4×400m Rにおける準決勝、決勝に時間により進出する最後の1枠に同成績がいる場合は、0.001秒の実時間を考慮する。それでも同じ場合は、抽選を行う。
- (3) **抽選は同成績者または代理人によって行われる。アナウンス後15分を経過しても当該競技者あるいは代理人が来なかった場合は、主催者が代行する。**
- (4) 800m以上の種目で最後の1枠に同タイムが出た場合、0.001秒の実時間を考慮する。それでも同じ場合は、同成績者は次のラウンドに進出できるものとする。この場合800mは1つのレーンに複数割り当てる。

## 6 競技について

### (1) トラック競技について

- ① Setの合図の後に正当な理由なく手をあげるなどの遅延行為等を行った時、イエローカードを示し、警告を与える場合がある【競技規則 TR16.5.1-3】。累積2枚のイエローカードを受けた競技者は当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場を妨げない。
- ② リレー種目では、同一のユニフォームを原則とする【競技規則 TR5.1】。ランニングパンツ、スパッツなどは、形が不揃いでもよいが、同一色にすること。
- ③ 男子5000mWはスタートから28分、女子5000mWはスタートから33分で次の周回にはいれないものとする。

### (2) フィールド競技について

- ① フィールド競技の予選通過記録は以下のとおりとする。

|    |          |           |           |           |
|----|----------|-----------|-----------|-----------|
| 男子 | 走高跳 1m85 | 砲丸投 11m50 | 円盤投 33m00 | やり投 47m50 |
| 女子 | 走高跳 1m55 | 砲丸投 10m00 | 円盤投 29m00 | やり投 32m00 |

- ② 男女走幅跳、男女三段跳、男女ハンマー投は予選を行わない。
- ③ **予選通過記録を突破した競技者が12名に満たなかった場合、予選の成績により決勝進出者を追**

加補充する【競技規則 TR25.15】。走高跳の場合、同記録になった高さで、試技数の最も少なかった競技者を、それでも決まらないときは、同記録を生じた高さまでの試技数のうち、無効試技数が最も少なかった競技者を決勝進出者とする。その他フィールド競技の場合、同記録となった競技者の2番目の記録で順位を決める。それでも決められないときは3番目の記録で決める。

- ④ 男女走幅跳、男女三段跳はA・Bピットに分かれて行い、競技終了まで割り当てられたピットは変更しない。
- ⑤ 三段跳の踏切版は、砂場から男子は12m地点、女子は9m地点に設置する。

## 7 競技用具について

競技用具は、棒高跳のポールを除いて競技場備付のものを使用する。持参した用具の使用を希望するものは検査を受け使用許可を受けなければならない。又許可された用具は他の競技者にも使用させねばならない。

## 8 走高跳・棒高跳について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後になり優勝が決定するまでは次の通りとする。ただし、天候などの状況により変更することがある。混成競技については、現地でAまたはBピットを選択する。

| 種 目           | 練 習                    | バーのあげ方                                 |
|---------------|------------------------|----------------------------------------|
| 男子走高跳予選       | 1m72                   | 1m75・1m80・1m85                         |
| 〃 決勝          | 1m80                   | 1m84・1m89・1m92 以後3cmずつ                 |
| 〃 棒高跳決勝       | 3m20・3m40・4m00         | 3m40・3m60・3m80・4m00・4m10 以後10cmずつ      |
| 女子走高跳予選       | 1m35・1m50              | 1m40・1m45・1m50・1m55                    |
| 〃 決勝          | 1m45                   | 1m49・1m54・1m57 以後3cmずつ                 |
| 女子棒高跳決勝       | 2m00・2m50・3m00         | 2m20・2m40・2m60・2m70 以後10cmずつ           |
| 男子八種競技<br>走高跳 | Aピット：1m30<br>Bピット：1m55 | 1m33・1m36 以後3cmずつ<br>1m60・1m63 以後3cmずつ |
| 女子七種競技<br>走高跳 | Aピット：1m15<br>Bピット：1m30 | 1m18・1m21 以後3cmずつ<br>1m33・1m36 以後3cmずつ |

## 9 競技用シューズについて

- (1) 800m未満のトラック種目は靴底の最大の厚さは20mm、800m以上は最大25mmとする。リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適応する。フィールド競技は三段跳を除いて最大20mm、三段跳は最大25mmとする【競技規則 TR5.2】。
- (2) 必要に応じて、競技役員が競技用靴を競技前、競技中または競技後に検査することがある。
- (3) その他詳細、WA承認靴リストについては、日本陸連ホームページ「シューズ規則に関して」を参照すること。 <https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/shoes/>

## 10 結果発表と抗議について

- (1) 各種目結果発表は、大型映像装置及びアナウンスで行う。掲示板による発表は行わない。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、同一日に次のラウンドが行われる場合は発表後 15 分以内、それ以外の場合は発表後 30 分以内に、競技者もしくは顧問が審判長に対して口頭で行い、審判長からの裁定を聞く。この裁定に納得がいかない場合は、預託金（10, 000 円）を添えて、総務を通してジュリーに「上訴申立書」で申し出る。なお、この裁定は最終の決定となる【競技規則 TR8】。「上訴申立書」は総務に用意する。

## 11 助力について

- (1) ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD プレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することは、助力と見なされ許可しない【競技規則 TR6.3.2】。
- (2) スタンドから映像を見せる事は認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡ししての映像確認は認めない。

## 12 入賞及び対校得点について

- (1) 各種目 8 位までを表彰する。リレー種目は代表者 1 名のみ表彰する。
- (2) 入賞者（チーム）の得点は、1 位 8 点・2 位 7 点・3 位 6 点・4 位 5 点・5 位 4 点・6 位 3 点・7 位 2 点・8 位 1 点とする。
- (3) 男女各 1 名ずつ優秀選手を表彰する。

## 13 南関東大会について

- (1) 男女の混成競技・競歩種目、女子三段跳、女子ハンマー投については 4 位までに入賞した者、女子棒高跳は 4 位（4 名）、それ以外の各種目においては 6 位まで（走高跳・棒高跳は 6 名）に入賞した者（チーム）に、南関東大会出場の権利を与える。
- (2) 南関東大会に出場の権利を得た学校は正面スタンド 1 階強化委員会の部屋（貴賓室隣）まで書類を取りに来ること。
- (3) 5 月 19 日（木）午後 5 時 45 分～6 時 15 分、東京工業大学附属科学技術高校にて南関東大会出場者の申込受付を行なうので、顧問は必要書類をととのえた上、必ず出席すること。（駐車場がないので車での来校は禁止）

## 14 その他

- (1) 本大会は第 77 回国民体育大会東京都予選会を兼ねる。
- (2) ゴミは、各自で必ず家に持ち帰ること。なお、競技終了後、各支部は指定された区域の清掃を行うこと。5 月 7 日(土), 8 日(日)は第 1,2,3 支部の学校、責任者は各支部長。5 月 14 日(土), 15 日(日)は第 4,5,6 支部の学校、責任者は各支部長。
- (3) 競技場内通路（ダッグアウト）にシートを敷いたりして場所を占有してはならない。
- (4) 閉会式は行わない。
- (5) 新型コロナウイルス感染拡大防止に努めること。主催者は当該競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。  
※「新型コロナウイルス感染拡大防止に関するガイドライン」を参照
- (6) その他不明の点は大会総務まで照会下さい。